



二之江の子

令和6年5月31日
江戸川区立二之江小学校
第3号

自分も友達も大切

校長 大石 吉郎

子供たちの元気あふれる「おはようございます」の挨拶で、毎朝、気持ちのよいスタートを迎えることができます。先日、登校途中の子供たちが、古川で親子のカルガモが泳いでいる様子を教えてくれました。親ガモの後ろに子ガモが連なっていく姿はとても微笑ましく、心温まる場面でした。また、古川沿いには、ショウブやアジサイの花が咲き始めるなど、変わりゆく季節を身近に感じる環境を大切にしていきたいと考えています。



さて、5月18日(土)は、今年度初めての学校公開に大勢の保護者の皆様、地域の皆様方にご来校いただき、ありがとうございました。この日は、全学年、学級において、道徳の授業を公開し、3校時には、講師の先生をお招きし、「自分も友達も大切」をテーマにお話をいただきました。

今回の公開授業では、「人との関わりに関すること」についての授業を参観していただきました。他にも「自分自身に関すること」「集団や社会との関わりに関すること」「生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」などがあります。道徳では各学年の発達段階に応じて、「自分を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自分の生き方について考えを深める」学習を通して、道徳的な判断力、心情を育み、自分のこととして物事をとらえ実践する力や態度を育てていきます。



3校時では、前第四葛西小学校長の山口祐一先生をお迎えして、「自分も友達も大切」について、5、6年生の子供たちと一緒に考えていく様子を、保護者の皆様、地域の皆様方に参観していただきました。

山口先生の「自分のことは好きですか」という問いかけから始まり、「自分のよいところはどこですか。」「友達のよいところが言えますか。」と質問が続く中で、友達のよいところはすぐに見つかるのに、自分のよいところはなかなか見つからないという傾向が見えてきました。しかし、友達から自分のよいところを伝えてもらうことを通して、自分のよさに改めて気付くことができました。また、

よき友を得るためには、自分がよい友達となるのが大切だということを教えていただきました。

最後に、「不合格(あ〜、だめだ)」の言葉を「未合格」の言葉に捉え直すと「まだ、いける(伸びる)」という気持ちになること、そして「人は必ず成長できる」という、すてきな言葉とともに充実した3校時を終えることができました。

これからも、「自分も友達も大切」にして、互いの良さを認め合いながら学校生活を過ごしてほしいと願っています。今月も学校公開が予定されていますので、保護者の皆様、地域の皆様のご来校をお待ちしております。

—学校公開のアンケートをご紹介します—

- ・友達の付き合い方を考えていく授業では、親たちの悩みのたねだったので、クラスみんなで考えられるととてもいい授業でした。
- ・自分の考えや気持ちを他者に伝えられる子になってほしいです。先生が子供たちに深掘りして質問されていたので私も子供に聞くときは、そのようにしてみようと思います。
- ・道徳の授業をみて、人の気持ちを考えたりする大切さを実感しました。
- ・道徳の授業内容がとてもよい内容でしたので、子供が何かをがんばろうと思えるよいきっかけになればよいなと思っています。
- ・3校時の道徳公開講座に参加できてよかったです。5・6年生にもなると立派に意見が言えて素晴らしいなど感心しました。
- ・「友達のよさ」は言えるが、自分のよさについてなかなか言えない実態を見ていて、大人も考えさせられました。